

大雪山国立公園の自然環境(自然環境保全基礎調査の結果から)

○特定植物群落(選定基準(\*)を満たし選定された群落)

		面積(ha)
1	平山高山植物群落	1,000の一部
2	十勝川上流針葉樹林	190
3	大雪山高山帯植生	36,500
4	下ホロカメツク山周辺自然植生	5,000
5	十勝三股の湿性植物群落	0.5
6	十勝幌加のベニバナシャクヤク群落	0.5

(第2-5回自然環境保全基礎調査・特定植物群落調査)

○原生流域(人工構築物が存在しない等の要件すべてに当てはまる1,000ha以上の集水域)

大雪山国立公園内の原生流域

		面積(ha)
1	茅刈別川	1,290
2	忠別川上流部	5,780
3	クワウンナイ川上流部	3,400
4	辺別川上流部	1,270
5	美瑛川上流部	1,470
6	トムラウシ川上流東沢	1,700
7	布部川上流部	1,970

(第5回自然環境保全基礎調査・河川調査)

上位5公園

	流域数	総面積(ha)
大雪山	7	16,820
磐梯朝日	7	12,520
十和田八幡平	3	5,600
中部山岳	2	5,441
白山	4	5,310

○動物の確認種数(国立公園内で確認された種数)

	哺乳類	両生爬虫類	淡水魚類	チョウ類	トンボ類
全国平均	18.6	6.3	16.3	63.8	13
北海道平均	18.5	2	12	36.7	10.8
大雪山	25	2	9	87	13
全国最多	富士箱根伊豆	富士箱根伊豆	富士箱根伊豆	秩父多摩	日光
道内最多	大雪山	利尻礼文サロベツ	釧路湿原	大雪山	釧路湿原

(第4回自然環境保全基礎調査・動物分布調査)

(\*) 特定植物群落の選定基準

- ・原生林もしくはそれに近い自然林
- ・国内若干地域に分布するが極めて稀な植物群落または個体群
- ・比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群
- ・砂丘、段崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
- ・郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
- ・過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの
- ・乱獲その他の人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群
- ・その他、学術上重要な植物群落または個体群(種の多様性の高い群落、貴重種の生息地となっている群落等)